

桐鈴凜々

「インド旅行記①」

桐鈴会理事長 黒岩秩子



私の長女萌実とは、札幌の私立女子中高一貫校の英語の教員をしています。彼女は初めてインドを訪ねたのが26歳の時だといいますが、以来今回で15回目と言うインド大好き人間です。仏教関係のことが大好きな卓夫をインドに連れて行きたいという彼女の夢がようやく実現して、萌実夫婦、私たち夫婦4人の旅が、8月4日から12日に実現しました。私は、萌実と一緒に20年も前に南インドに行っています。前回は2度目になります。「物乞い」にどう対応するかと言ったのが一番の難問でした。何かを渡しても納得がいかないし、

渡さなくても納得がいかない。小学生ぐらいの子どもが来たり、生まれたばかりと言う感じの赤ちゃんを抱いた女性や男性が来て、その赤ちゃんがやせ細っていたりしたら、渡さないわけにはいかないのが心情です。さんざん悩んでいたら、夫は結構渡しています。そういうことが嫌いな人だと思っていたので、私も萌実も少々驚きました。すると夫は言います。「昔自分もらったり、拾ったりしていたから、自分の姿が重なるんだよ」。満州からの引き上げの時のことでした。

その夫が着いた翌日午後、地下鉄の中ですりにあい、ズボンのポケットから財布を取られてしまったのです。その時もっていた全財産のほか、3枚のカード、免許証まで！ 外国旅行が

第97号
平成26年9月12日発行
発行責任者
社会福祉法人 桐鈴会
理事長 黒岩秩子
南魚沼市浦佐 5142-1
電話 025-780-4118
FAX 025-777-3731
e-mail
suzukake@rose.ocn.ne.jp
http://www17.ocn.ne.jp/~toureil/

桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す
・高齢者、しよがいしゃ、子どもたちが
安心して住める地域を創ろう



不慣れた夫に注意をしなかった私たちも反省せざるを得ませんでした。



イスラム教の大寺院の中庭で。私達夫婦と長女夫婦



この地下鉄は、日本からの援助でできたものだそうですが、どんどん伸びて日本の1960年代の感じ。とても混んでいて、2本見送った後やっと乗り込んだ満員電車でのことでした。カードをとめることを夫が理事長をしている萌気園の職員にお願ひしたりして、やっと少し冷静になったらこう言っ

けました。「もつとたくさん物乞いの人たちにあげておけばよかった」。

首都ニューデリーの駅前で、たくさんの人たちが、道路の上を住処にしています。ゴミだらけ、ほこりだらけの道路上です。同じニューデリーでも官庁街に行く道は日本かと思うぐらいきれいになっています。どんどんビル工事が進んでいる様子です。大企業が発展していく陰で、貧しい人が増えている日本の現状と変わらないようにも感じました。

12日朝、成田に着き、午後1時浦佐の家につきました。夫はすぐに長岡に免許を取りに行きました。「商売道具だから」とのこと。六日町に行っても1週間かかってしまうそうです。夕方には何事もなかったように帰ってきたのでした。(続く)

スペシャルオリンピックス
in 南魚沼
2016年2月12〜14日
五日町スキー場で開催！



そもそもスペシャルオリンピックス(SOと略す)ってご存知ない方もあるかもしれません。最初に始めたのは、ケネディ大統領の妹で、親族の知的障がい者のため、ということだったそうです。これがアメリカのみならず世界中に広がって、今では、世界170か国400万人の知的障がい者と、100万人のボランティアが参加する活動となっています。日本では、1995年に熊本で細川佳代子さん(元首相夫人)が中心になって開催され、その記録も含めて「花も花なれ、人も人なれ」(角川書店)として2011年3月に出版されました。私はこの本を読んで、新潟でも開かれたらいいのになあ、と思っていました。その後、第2回冬季SOが長野で開かれ、その時に、行政のトップで細川さんと汗を流したのが、大月良則さんでした。その後長野県知事秘書となって、

当地を訪ねてください、その時の話を聞きました。なんとこの度新潟で、開かれることになったのです！

7月12日(土)に五日町雪国スポーツ館で行われた準備会に参加してみました。色々なことがわかりました。2016年2月12〜14日の3日間新潟で開かれることになっていたところ、県内にたくさんあるスキー場の中で、五日町スキー場が選ばれたのは、去年開設された南魚沼総合支援学校が、地域に溶け込んで素晴らしい実践をしているからだということがわかりました。
南魚沼市立総合支援学校 YouTube
www.youtube.com/watch?v=9Jdc3-kxNjo

これを見た人はだれでも笑ってしまいます。「恋するフォーチュンクッキー」を井口一郎市長、南雲権治教育長をはじめとして、全生徒、全保護者、全教職員のみならず、地域の方々がたくさん楽しそうに踊っているのです。ほんの3分ぐらいのものなのですが、これを見たSOの役員の方々は、びっくりされたそうです。この準備会で事務局として

話をされた久保田健新潟県立江南高等特別支援学校進路指導主任がおっしゃるには、「うちの学校でこれをしようとしても無理です。生徒や、保護者が、みんな出演するなんて」とのこと。それで、SOの理事長有森裕子さんが、南魚沼市を訪れて、申し入れをし、井口市長が、受け入れたことから始まったということでした。

ここで行われる競技は、スケート、スキー、スノーボード、フロアホッケー、ほかに「かんじき」で雪上を走るスノーシューイング、もあります。桐鈴会が運営するGH(グループホーム)入居者で、山岳マラソンなどで大活躍してきた戸田聡さん(38歳)はきつと喜ぶだろうと早速彼に話しかけたらうれしそうにしている、翌13日は早速その練習に参加してきました。小出特別支援学校で20人ぐらいのアスリート(大会参加者をこのように呼ぶ)と一緒に練習しました。その後、CH(ケアホーム)のおひさまで、この話をしたら、水落幸子さん(48歳)が、スキーをしたいといい、関明美さん

(39歳)は18歳の時に自損事故で、片麻痺となって、リハビリをしていた時にスキーを薦められたのだけど断ってしまった。やっていたらよかった、というので、今から始めよう、と誘ってみました。リハビリの先生に相談してくるとのこと。こんな風にして広がっていったら素晴らしいなと思いました。7月19日に行われたフロアホッケーの練習には、水落幸子さんと戸田聡さんが参加してきました。2017年には、オーストリアで世界大会が開かれますが、2016年の新潟大会で、日本代表が決まります。(黒岩秩子)

「水落ケサさんの

100歳を祝う！」

グループホーム桐の花

管理者 糸山和子



7月15日、100歳を迎えられたケサさんのお誕生日をお祝いしました。100年前の日本を想像することもできませんが、激動の昭和と言われる時代を生き抜いて来られたあっぱれな人生と思います。



「浴衣、よく似合っていますよ」

桐の花に入居された当初は「要介護1」、今ではりっぱな「要介護4」です。主治医の黒岩先生が入居時の診断書に「おだやかなげけ方です」とお書きになっていきます。まさにお見立通り。介護員が癒されています。お誕生日に着ていただいた浴衣は、ご家族と職員が協力して一生懸命選びました。

桐鈴会では、いつからかこんな習慣ができています。と言うのは、新しく就職された方すべてに対して、「桐鈴会の生い立ち」（桐鈴会のHPに全文あり）を読んでいただき、その感想文と共に、働いてみての感想や決意などを文章に出していただく、と言うものです。これは実はとてもありがたいことに、いくつかの提案があったりして、改善していくきっかけになったりしています。

このたびは、おひさま職員の富永なつみよりとても感動的な話が書かれてあったので、原稿にしてみました。（黒岩秩子）

「笑い」で守る自分

ケアホームおひさま
生活支援員



富永なつみ

私は学生時代、障がい者の就労支援施設で1カ月間ボランティア活動をした経験があります。その事業所では、利用者さんがそれぞれ個人に合った役割を担っており、個人の特性を生かした製造ラインは素晴らしいもの

でした。その中でも私が強く印象に残っているのは、いつも笑っている一人の方の存在でした。その方の笑い声は作業中も時折部屋の中に響き、張りつめた雰囲気や和らげているようでした。しかしなぜその男性がいつも笑っているのか疑問でした。職員さんに尋ねると、「自分を守る為だよ」という答えが返ってきました。思いもよらない答えでした。その男性は知的障がいをお持ちの方で、小さい頃に火傷で片足を失い義足をつけていました。年齢は中高年位の印象でした。今よりも障がい理解されていない「昔」の中で、彼は自己防衛として「笑う」という生きる術を見出したのではないかと感じました。しかし、彼の生きる術は今では作業場での雰囲気や人を良くし、そこでなくてはならないものとなっています。どんな辛い経験も環境と周囲の人間に恵まれれば、いずれその人の財産になると思います。人は物差しで測ることの出来ない魅力や役割を持っていると思います。



桐鈴会夏祭り

今年も盛大でした！



「レンズを通して見えた

桐鈴会夏祭り」



桐鈴会理事 佐藤 剛

今年も7月25日に桐鈴会夏祭りが賑やかに行われた。

この時期、夏祭りは多い。この大和地区で言えば、浦佐白山神社の例大祭から始まり、お盆にかけては「村の鎮守」の夏まつりが多くの集落で行われる。

「祭」の由来、発生は「無病息災」を願い、また「鎮魂」「祝」といろいろだろうが、そこに住む、暮らす人々の「つながり」「絆」今風に言えば「コミュニケーション」と言ったらいいのか、そんな微妙な差異を感じる。

桐鈴会夏祭りからは、私はそういう新しい「つながり」を感じる。

桐鈴会理事をやっていることもあり、この祭りでは毎年カメラマン（カメラ小僧）の役をいただいている。

カメラのレンズを通してみれば、祭りの賑わいの中の一瞬の表情を見ることが出来る。毎年、屋台の職人さんは、日頃の仕事の疲れも見せず楽しんでる。ボランティアの学生の、いつにない大きな声でお客を呼ぶ浴衣姿がある。アトラクションを披露した小学生の太鼓や剣舞の真剣さもレンズの中にある。



カラオケに酔う、カメラマン佐藤剛理事

施設の利用者さんは、訪れたご家族と一緒に飲食する人。アトラクションを楽しむ人。自らもカラオケで唄う人。「恋するフォーチュンクッキー」を踊るスタッフ、役員。みんな楽しそうに「笑顔」「笑顔」「笑顔」。何よりも感じることは、この夏祭りは毎年地域のつながりが広がりボランティアも増え、純粹に祭りを楽しむ地域の人が増えていることだ。今年の人集まりはカメラに収まらず、踊り

の櫓の上からも撮った。もちろん、昨年に引き続き来てくれている人も多い。レンズの中の顔は昨年撮った記憶がある。この桐鈴会夏祭りは、長い歴史があるということでもないが、「ケアハウス鈴懸」を中心に、年々定着し地域の人からも開催の日が待たれる、そんな夏祭りになってきたことは嬉しいことだ。また来年も、レンズを通して今年と同じ素晴らしい笑顔撮りたいものだ。



桐の花の入居者と職員の熱唱



中島修さん（柳古新田）率いる子ども太鼓



林施設長の孫2人と友人の剣詩舞。ここ3年東日本大会で優勝している

◆私は週に1日だけ利用させていたのですが、利用日のお昼にスタッフさんの指導のもと、夏祭りでの発表に備えて「フォーチュンクッキー」の練習をスタッフさん、利用者さんとしていました。当日、私の場合はうまく踊れ



井口節子をリーダーに皆が楽しんだ「恋するフォーチュンクッキー」

夏祭りを楽しく盛り上げようと、余興に桐鈴会の職員でAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました。この中に工房とんどの利用者も参加してくださり、賑やかさを演出していただきました。参加してくれた利用者からの感想です。

なかつたところがありました、楽しく頑張れたと思います。

「とんとん」のクッキー、パン等もきつと「フォーチュンクッキー」の歌のようです。ただくとおいしくて、楽しく幸せな気持ちになると思います。

皆さん、是非召し上がってください。
(大平あけみ)

◆私はうまく踊れるようになりたいです。一番好きなのはAKB 48です。井口節子さんと踊ったことです。そして汗をかいたことと仲間がいっしょにいてよかったです。
(井口 陽)

◆「フォーチュンクッキー」を踊って楽しかったです。みんなと踊れて楽しかったし、私はずっと嬉しかったです。また踊れるなんてよかったです。AKBの踊りを踊るのが楽しみです。
(佐藤涼子)

◆最初はなかなか踊れなかったけど、みんなと協力して楽しく笑顔で踊れてよかったです。

(吉楽佳子)



檜の上から。ワイワイ、ガヤガヤの夏祭り会場

「初めての夏祭り」 ケアホームおひさま

生活支援員 富永なつみ



私は今年4月から入社し、実
行委員として初めて桐鈴会夏祭
りに参加しました。準備段階で
は初めてでわからないことが多
く、どのような雰囲気で行われ
るのかドキドキしながら本番を
迎えました。

当日は心配していた雨は降
らず、逆に猛暑となりました。
それにも関わらずたくさんの利
用者さんやそのご家族、ボラン

ティアの方、地域の皆様が参加
して下さり、お祭りは大賑わい
となりました。

出し物として、私はAKB 48
の「恋するフォーチュンクキ
ー」のダンスに参加しました。

これは南魚沼総合支援学校から
始まった、AKB 48のダンスを
アレンジしたもので、ユーチュ
ーブ（動画サイト）で話題とな
ったものです。とんとんの職員
である井口節子が中心となり、
お昼の休み時間を利用して練習
を行いました。練習は夏祭り当
日が近づくにつれて毎日のよう
に行われ、とんとんの利用者さ
んや職員の気合は十分でした。
本番では桐鈴会各施設の職員も
一緒に大勢で披露しました。
とても盛り上がり、皆さんと良
い時間を共有出来てとても嬉し
かったです。またカラオケは、
おひさまからも2名の方が参
加されました。事前練習はほん
の少ししかしなかったにも関わ
らず堂々と歌う姿は、とても輝
いて素晴らしかったです。

私にとって今回の夏祭りは、
とても思い出に残るものとなり
ました。また利用者の皆様にと

っても、生活の張り合いになつ
たのではないかと思っています。
ご家族で楽しんでお酒を飲む姿
もあり、おひさま内では見られ
ない姿があった事もとても嬉し
く思っています。

最後に、おひさまでは夏祭り
終了後も、しばらくリビングで
数人集まり余韻に浸っていました。
おひさまの利用者・職員共
にほとんどの方が初めての夏祭
りだったので、それぞれが
なんとなく満足そうな様子であ
ったことを覚えていきます。また、
私がコウモリを浴衣に付けて、
おひさま内に連れて帰り大騒ぎ
をしてしまったことも忘れられ
ない思い出の一つとなりました。
今回の祭りを張り合いとし
て、また日々の仕事を頑張っ
ていきたいと思います。



カラオケで皆をうならせた
おひさま入居者（左側2人）

実習生からお便りを
いただきました。

「鈴懸おはようヘルプでの
居宅介護実習口を終えて」



長岡看護福祉専門学校

介護福祉学科2年 山田沙璃



私は今回、居宅
介護実習口を鈴懸
おはようヘルプで
3日間実習をさせ
ていただきました。

とても短い実習でしたが、改めて「訪問介護」の必要性や、利用者、ご家族がどのような存在なのか、そこでヘルパーがどのような役割を果たしているのか、職員の方々に同行し、見て関わり感ることができました。この実習で「介護福祉士」「看護師」の資格取得を目指している私にとって訪問介護の在り方が大きく変わり、大切なことにたくさん気づくことができました。高校2年生の時、初めて訪問介護の実習に行きました。その時目にしたのは、声かけもなく、ただ介助をして「ありがとうございまして」と終わる、とても

寂しい光景でした。私はその実習が終わった後「こんな訪問介護のような介助はやりたくないし、利用者も絶対してもらいたくないだろう」と考えました。その時から悪いイメージしかありませんでした。

そして、「鈴懸おはようヘルプ」での実習が始まり、その悪いイメージと実習が始まるという緊張で胸がいっぱいでした。緊張感の中、ケアハウス鈴懸の入居者の方々や職員の方のアットホームな雰囲気にとっても和まされ、元氣と笑顔をいただきました。

その後、森山栄子管理者から施設の説明を聞き、ケアハウスの中に訪問介護ステーションがあることにとても驚きました。そしてケアハウスの中にあることで、そこで生活している方々の大きな心の支えの一つとして、訪問介護があると感じました。また、サービスタイムや介助内容も決まっている中で、利用者も小さな変化を誰よりも近くで見ることができ、そして一対一で生活に深く関わっていることを見て感じ、とても心が温かくな

りました。

2日目、訪問介護の大変さや難しさを知りました。家族関係の間に入り、ご家族と利用者両方の心の支えとなり、耳を誰よりも傾け、すべてを受け止め助言しているその背中はとても大きく見えました。そして、特別養護老人ホームとは違う難しさを感じました。

3日目、訪問介護において一番大切なことを教えていただきました。それは利用者の方への言葉の掛け方です。難しいと感じましたが、利用者さんの「笑顔が見たい。笑顔になつてほしい」という気持ちをこれからの実習に活かしていきたいと考えました。そして、様々な場面で利用者の方が一人になった時、困ることがないような支援をできるようになりたいと、今回の実習を通して強く感じました。終わりに3日間で訪問介護の必要性や利用者、ご家族の心だけでなく生活の支えになつていくことを知ることができました。これからは命を繋ぐという役割が増えていくのではないかと考えました。

私が笑顔で3日間過ごすことができたのは、鈴懸おはようヘルプの職員の方皆さん、ケアハウス鈴懸の調理員さんが暑さにも負けないでおいしい昼食を作ってくださったことなど、多くの職員さんの支えあつたからだと思います。3日間とても充実した実習をさせていただきました本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

産声

「小川菜摘
男子出産」

男子出産



産休に入っていた工房とんとん職員の小川菜摘に、7月2日無事、男子が生まれしました。体重3320グラムの凛々しい赤ちゃんです。名前は玲音（れお）君です。ご両親の願いは「素直な子どもに育ってほしい！」と。

お姉ちゃんは、毎日「レオ君、レオ君」とお姉ちゃんぶりを発揮しているそうです。何よりもうれしいニュースのご報告です。

桐鈴川柳(6月の句)

「世間体・子ども・自由吟」

マンションで世間体など

気にしない

気にしないやはり気になる世間体

日の暮も忘れて遊ぶ寺の庭

肩書が見栄を張ってる世間体

伸び伸びと遊んで学ぶ子が宝

泥団子作る子の顔泥の地図

老いらくの恋路邪魔する世間体

ハネムーン宮殿ホテル間に合わず

延べ棒が出た出た金だ何億円

八十路入り恥をかいしたり

義理を欠き

荷が届きつくばせんべいに金一封

何着てもいいのお前は 百姓っ子

選者句

子のせいにするなお前が笑われる
八十路もう逆転のない歩み

(酔泉)

(7月の句)

「夢・物価高・自由吟」

八十路恋逢瀬楽しむ夢の中

三億円長者の夢の儚さよ

今はもうピンピンコロリの

夢ばかり

夢見では喜んでいいる当たり籤

大空を翔けて夫と悴に会うが夢

夢見頃そんな青春あったかな

正夢であつてほしいと手を合わせ

この年で八海登山も夢となり

物価高かあちゃんチラシと

にらめっこ

増税になって一品減る夕餉

五が八になってとっくり上げ底に

ブランド品値段を睨み転けた札

年寄の年金下げて物価高

火の車上手にさばく主婦の腕

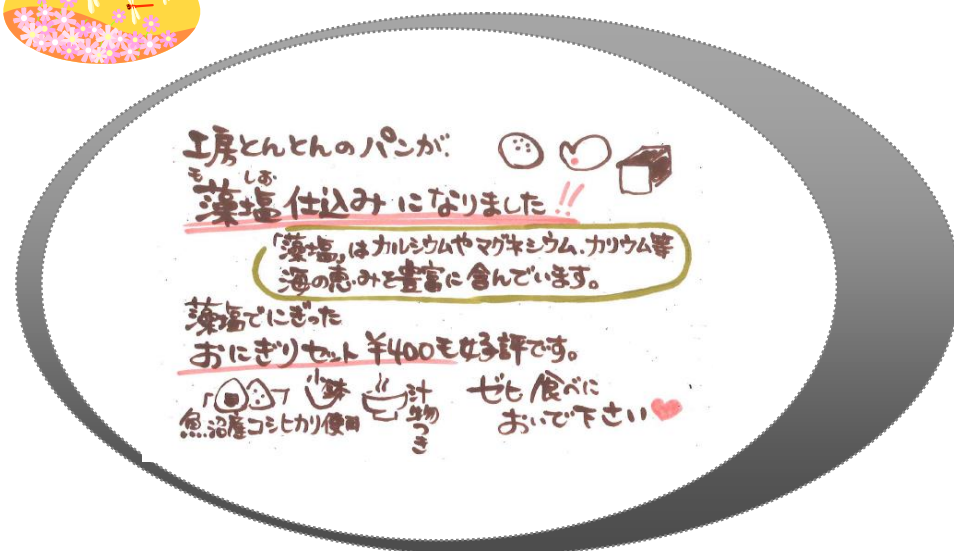


また増えた体重計と物価高

下ネタでやじる都議会怒る電ひょう

選者句

ハーブティーだいじょうぶかと
聞いている (酔泉)



編集後記



◆今年の日本の気候は、すこぶる不機嫌である。所かまわず、容赦なく、とてつもない水鉄砲を食らわせ、世の人々を困らせている。何の因果があるのだろうか。◆人間の中にもこれと同じような体(テイ)を取る人もいる。駄々っ子はまだ扱いやすいが、これが大人となつたら厄介だ。自分勝手な思い込みで突然、また無差別に手当たり次第で人を殺したり、傷つけたりする。◆このことも突然襲ってくる集中豪雨と同じように、予告も前兆もなく発生する。全く対抗する術なしである。こんな世にどうしてなつたのか。◆今回発生した広島土砂災害は、まっことひどい。この腹いせをどこにぶつけ、訴えたらよいのだろうか。天は、情けもへつたくれもなくなつたのか。あゝ無情。(林 幸英)

訂正とお詫

桐鈴凜々95号5頁上段に掲載しました「新入居者紹介」欄中、中島豊一さんの年齢が87歳になっていました。5月15日の発行日時点では82歳が正しい年齢でしたので、訂正してお詫びいたします。

工房とんとん 感謝祭

グループホーム桐の花 10周年 記念

日頃よりご協力いただいている地域みなさまに感謝の気持ちを含めて「工房とんとんの感謝祭」と「グループホーム桐の花の10周年」を開催いたします。みなさまお誘いあわせのうえお越しください。

日時：平成26年10月18日(土) 午前11時～午後3時まで

会場&内容：

「工房とんとん（すずカフェEable）」

☆ハンバーガーワンコイン¥500ランチ

（ハンバーグはセルフレISH工房のハンバーグ！サラダとドリンクバー）をやるよ！数に限りがございます。ご了承ください。

「夢草堂」

☆バザー（古着や贈答品など掘り出し物満載です）

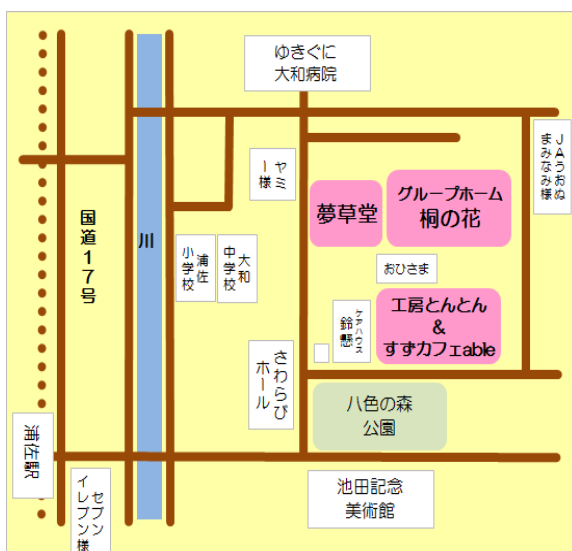
☆工房とんとんのパンや手づくり商品

☆スライドショー（工房とんとんと桐の花コラボレーション）

「グループホーム桐の花」 午後1時～午後3時まで

☆お茶をご用意してお待ちしています。

☆スライドショー（桐の花の10年を振り返ります。）



【問合せ】

工房とんとん

南魚沼市浦佐5143-1

電話番号：025-780-4150